

3次元画像コンファレンス 2022 論文募集

- Call for paper : 3D Image Conference 2022 -

近年、3次元画像分野に関する技術は、研究開発にとどまらず、車の自動運転、ロボット、広告・サイネージなど、産業および社会応用へと発展してきています。また、様々な産業応用等が進みつつあるバーチャルリアリティ(VR)、拡張現実(AR)においても、こうした3次元画像関連技術は重要な位置を占めています。1993年に発足した本コンファレンスは、今回で第30回目を迎えます。3次元画像に関連する研究調査活動を行っている学会・研究会等が一堂に会する研究発表・討論の場であり、3次元画像の入力・表示・処理に関するハードウェア・ソフトウェア技術、3次元画像に関わる生理心理評価や感性工学に加え、3次元画像の応用に関する人間的・社会的側面やアート表現なども対象にしています。当分野に興味をもたれる皆様からの積極的な発表・応募をお待ちしています。

- ◆会期 2022年7月15日(金) - 16日(土)
- ◆会場 長崎大学 文教キャンパス 文教スカイホール + オンライン併設
- ◆参加費

参加区分	申込日	～7月8日(金) 17時まで～
講演発表者 & 講演学生発表者(協賛・非協賛問わず)		15,000円
協賛学会会員聴講		15,000円
非会員聴講		20,000円
学生聴講		5,000円
団体オンライン聴講(接続は1接続のみ)※		30,000円

※ 同じ組織内の複数の聴講者が1か所に集まり聴講する場合の参加区分です

◆プログラム構成

第30回目を記念したパネルディスカッション等の特別企画や、一般講演(通常的口頭形式または様々なデモが可能な自由度のあるポスターに準じた形式)、招待講演などを予定しています。オンライン併設ながら実機の紹介なども想定します。また、**製品類や企業における技術開発をご紹介いただく場となる「企業セッション」**を新たに設けます(申し込みは別紙参照)。

◆募集の分野 3次元画像に関する諸技術・応用:

- ① 3次元画像の入出力・表示技術(3Dディスプレイ、カメラ、ホログラフィー、3Dプリンティングなど)
- ② 3次元データの情報処理技術(処理アルゴリズム、符号化、シミュレーション、AIと3Dなど)
- ③ コンテンツ制作技術・利用技術(VR、AR、3Dインタラクションなど)
- ④ ヒューマンファクタ、感性工学、社会科学
- ⑤ 医用画像技術(診断、治療などに関わる医療応用全般、医学教育における3次元画像利用)
- ⑥ 応用(教育、放送・通信、建築など)、アート・可視化への利用

◆講演申込方法 3次元画像コンファレンス web サイト(<http://www.3d-conf.org/>)から

「講演申し込みの手引き」にしたがって投稿をお願いいたします。お申し込み後に、受付の返信をいたします。

※送付後5日以内に返信のない場合には、末尾の問い合わせ先までお問い合わせください。

◆講演申込締切 2022年4月11日(月)必着

◆応募論文の審査 応募論文は実行委員会において申込時提出の審査梗概で採否等を審査いたします。採択後にご提出いただく論文のフォーマット等詳細は、論文採択通知とともにご連絡いたします。

◆採択通知 2022年5月13日(金)

◆採択原稿締切 2022年6月27日(月)必着

◆優秀論文の表彰 発表時における厳正な審査の下、優秀論文には論文賞を贈呈し、2023年度当コンファレンスにて表彰します。

◆主催 3次元画像コンファレンス 2022 実行委員会 [担当 画像電子学会]

共催 国立大学法人 長崎大学

協賛学会・研究会(50音順、予定含む): 映像情報メディア学会、可視化情報学会、画像電子学会、計測自動制御学会、三次元映像フォーラム、情報処理学会、人工知能学会、超臨場感コミュニケーション産学官フォーラム、電子情報通信学会(医用画像研究会、画像工学研究会、パターン認識・メディア理解研究会、ヒューマンコミュニケーショングループ)、日本医用画像工学会、日本解剖学会、日本機械学会、日本光学会(情報フォトリソクス研究グループ、ホログラフィックディスプレイ研究会)、日本コンピュータ外科学会、日本視覚学会、日本写真学会、日本生体医工学会、日本超音波医学会、日本バーチャルリアリティ学会、日本ロボット学会、バイオメカニズム学会、光産業技術振興協会、ヒューマンインタフェース学会

◆お問い合わせ先 〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27 アドコム・メディア(株)気付
3次元画像コンファレンス 2022 実行委員会 E-mail: info[at]3d-conf.org